

広域地方計画について

計画策定のポイント

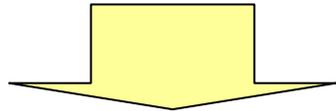
- 広域ブロックごとに**特色ある戦略**を描く
- 各ブロックが**交流・連携**、相乗効果による活力
- 各地域が相互に補い合っ**て共生**
- 文化・伝統や個性ある景観など美しい国土の再構築

このためブロックの外に向かっては、とりわけ、

- ・ **東アジア**等との交流・連携
- ・ 太平洋のみならず、**日本海及び東シナ海**の活用

ブロックの内部では、

- ・ **成長エンジン**となる都市・産業の強化
- ・ 各地域が**連携、相互補完**
- ・ **地域の総合力**を結集し、安心して暮らせる生活圏域を形成



100年に一度と言われる世界的な金融危機を契機とした、足下の経済や雇用の厳しい状況等を踏まえつつ、これを乗り越える**自立的発展**に向けた**今後10年の将来展望**を描く。

～国と地方の協働～

広域地方計画協議会の協議を経て
国土交通大臣決定

都府県知事
政令市市長

経済団体等の長

- ・ 経済連合会
- ・ 商工会議所連合会 等

広域地方計画協議会

代表市町村の長
隣接する県等の長

国の地方行政
機関の長

広域地方計画区域

- 東北圏 : 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県
- 首都圏 : 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
- 北陸圏 : 富山県、石川県、福井県
- 中部圏 : 長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- 近畿圏 : 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国圏 : 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 四国圏 : 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州圏 : 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県